

(作詞:高畑勲・坂口理子/作曲:高畑勲)

「いのちのコンサート」に参加して!

●昨夕は野田市に富田さんの歌声を聴きに!



昨夕は、野田市樺ホールで行われた「いのちのコンサート」(若草会主催、主宰:高橋裕子さん)に、春日部地区浦高会の根本 崇・会長以下5名がお招きいただき、浦高OBでバリトン歌手の富田千種さんたちの歌声を半年ぶりに楽しませていただきました。



〔富田様(右)とソプラノの矢澤知嘉子さん(左)〕



〔第2部の冒頭で挨拶される根本会長(右)〕



〔合唱を披露する若草会の皆さん〕

■高橋裕子さん: 山形大学特設音楽科ピアノ専攻卒業。秋月和子、大堀敦子、外狩仲一、伊達華子の各氏に師事。若草会を主宰し後進を育成する傍ら、つくしぼコンサート、若草会コンサート、江戸川病院でのミュージックセラピーコンサート等々、地域に密着した演奏活動をおこなっている。

◇ ◇

昨夕のコンサートは、若草会の皆さんが「小さな命を守り、健やかに育みたい」という思いで『いのちのコンサート』というタイトルを付け、第一部が「アンサンブルファンタジー “いのち”」でした。

■第一部 アンサンブルファンタジー “いのち”

◇あとひとつ (作詞/作曲:小川結花/歌:FUNKY MONKEY BABYS)

◇ありがとう

(作詞/作曲:水野良樹/歌:いきものがかり)

◇朗読「生きる」谷川俊太郎

◇かぐや姫の物語(スタジオジブリ・高畑勲作品)

- ・なよたけ(作曲:久石 譲)
- ・わらべ唄、天女の歌

●愛の二重唱

オペラ「かぐや姫」平井秀明作より
かぐや姫(ソプラノ):矢澤知嘉子
帝(バリトン):富田千種
合唱:ほほえみ合唱団
伴奏:高橋裕子

◇いのちの記憶

(作詞/作曲/歌:二階堂和美)

■第二部 名曲をあつめて

第二部は、若草会の皆さんが研鑽を積んで来られた演奏の発表会で、21組の楽曲が披露されました。最後に「いのちの記憶」を皆さんで合唱してお開きとなりました。

◇ ◇

今回のコンサートは、昨年から予定されていたものでしたが、今年1月に野田市内で両親の児童虐待によって幼い命が奪われた事件をきっかけに、みんなで「命の尊さ」を考えようということで第一部が急遽再構成されたそうです。皆さんが歌われた「あとひとつ」「ありがとう」の歌詞の意味、そして谷川俊太郎さんの「生きる」にある言葉の一つひとつに考えさせられるものがありました。

「生きる」 谷川俊太郎

生きているということ/いま生きているということ
/それはのどがかわくということ/木もれ陽がまぶしいということ/ふっと或るメロディを思い出すということ/くしゃみをする事/あなたと手をつなぐこと

生きているということ/いま生きているということ
/それはミニスカート/それはプラネタリウム/それはヨハン・シュトラウス/それはピカソ/それはアルプス/すべての美しいものに出会うということ
/そして/かくされた悪を注意深くこぼむこと

生きているということ/いま生きているということ/泣けるということ/笑えるということ/怒れるということ/自由ということ

生きているということ/いま生きているということ/いま遠くで犬が吠えるということ/いま地球が廻っているということ/いまどこかで産声があがるということ/いまどこかで兵士が傷つくということ/いまぶんこがゆれているということ/いまいまが過ぎてゆくこと

生きているということ/いま生きているということ/鳥ははばたくということ/海はとどろくということ/かたつむりははうということ/人は愛するということ/あなたの手のぬくみ/いのちということ

